

令和8年5月26日

葉山町議会議長 土佐洋子 殿

陳情書

堀内会館再整備事業の見直しを求めます

私は葉山町民として、現在進められている堀内会館再整備事業について強い疑問を持っており、議会として事業の一時停止と再検討を求めるべく、以下のとおり陳情いたします。

(1) 事業費の不透明さについて

令和8年5月に改定版基本計画が公表されましたが、肝心の総事業費が一切示されていません。解体・新築・児童遊園整備・外構を合わせれば数億円規模になるはずの事業について、町民が費用対効果を判断する材料が与えられないまま、設計委託・解体工事へと進もうとしています。予算を審議する立場である議会として、この点を厳しく問うていただきたいと思えます。

(2) 都市計画道路との関係について

計画地には昭和33年決定の都市計画道路（3・6・5風早元町線）が存在しますが、現実的に整備される見通しは低いと考えます。仮に道路整備が進まないとしても、この事業が財政的に成り立つのかという点はもちろん、一部の利用者だけでなく町民全体にとって本当に必要な施設なのか、また限られた公費を特定地域の施設新築に投じることが町民全体への予算の公平性に照らして妥当なのか、その点の説明が一切なされていません。計画道路の有無にかかわらず、事業の収支と町民全体のニーズおよび予算の公平性に基づいた検討を改めて求めます。

(3) 津波浸水区域への新築について

計画地は津波浸水深1～2mの想定区域内にあり、計画書自体も津波災害避難所には指定できないと明記しています。それでも新築を進める理由が町民には十分伝わっていません。むしろ解体後は暫定広場として地域に開放し、より安全な形での活用を改めて議論すべきではないでしょうか。

(4) 旧運営委員会の経理問題について

これまで運営委員会が管理してきた期間に積み上がったとされる約3,000万円の管理費用について、銀行通帳・領収書・工事記録といった一次資料が町民に公開されていません。

「改修工事等に使った」という説明があるならば、通帳と工事記録を突き合わせれば確認できるはずですが、この経理を不透明なまま放置し、新たに多額の公費を投じる計画を進めることは、町民への背信行為と言わざるを得ません。町が長年この状況を放置してきた監督責任も問われるべきです。

(5) 財政の優先順位について

葉山町は人口減少・少子高齢化が進む中で、学校施設の老朽化、福祉サービスの維持、防災対策など、より緊急性の高い課題を抱えています。地域の一会館の新築に数億円を使うことが、今の葉山町にとって本当に優先すべき事業なのか、町全体の財政計画の中で議会として改めて問い直していただきたいと思えます。

(6) 住民参加の実質について


意見募集は今回で2度目ですが、計画の根幹は変わっていません。前回の意見への回答は個別郵送にとどまり、陳情審議の結果も広く周知されていません。住民の声を形式的に聞くだけで計画を推し進めることは、民主的な行政とは言えないと考えます。

.....
以上を踏まえ、下記のとおり陳情いたします。

記

1. 堀内会館再整備事業の設計・解体工事の執行を一時停止すること
2. 総事業費および維持管理費の長期見通しを速やかに町民へ公開すること
3. 旧運営委員会の管理期間における経理（銀行通帳・領収書を含む）を第三者も交えて検証・公開すること
4. 計画道路の有無にかかわらず、事業の収支と住民ニーズの観点から本計画を再審議すること
5. 葉山町全体の財政優先順位の観点から本事業の必要性を改めて審議すること

.....
住所：神奈川県三浦郡葉山町堀内939-13

氏名：中尾和嘉 印 

電話：080-6364-8889

